



(写真) Shutterstock “米国上院議会 マドゥロ政権との取引を制限するボリバル法を承認”

2022年12月16日(金曜)

政治

「[予備選運営委員会 CNE に投票場の使用を要請](#)」

「[カスティジョ前大統領 拘留を18カ月延長](#)」

経済

「[米国上院 ボリバル法を承認](#)」

～マドゥロ政権との取引制限を法律化～」

「[Avex 非伝統輸出品の輸出額は前年比40%増](#)」

「[与党国会 追加予算約27.6億ドルを承認](#)」

「[2022年ドル建て価格は50%増](#)」

社会

「[クリスマス ベネズエラでNGのプレゼント](#)」

22年12月17～18日(土・日)

政治

「[マドゥロ政権 23年からGLONASS使用
～ロシアの衛星測位システムで関係強化～](#)」

「[独立野党FV マドゥロ大統領と協議](#)」

経済

「[マドゥロ政権・ペトロ政権 増便で合意](#)」

「[Chevron ライセンスはマドゥロ政権に裨益
～23年5月に制裁ライセンス見直し～](#)」

「[23年のベネ石油産業は前年比7.2%増](#)」

社会

「[ベネズエラのマスク着用アンケート](#)」

2022年12月16日（金曜）

政治

「予備選運営委員会 CNE に投票場の使用を要請」

12月15日 「予備選挙運営委員会」は、「選挙管理委員会(CNE)」に対して、予備選を実施するために1.4万超の投票場の使用を求めた。

ヘスス・マリア・カサル代表は、「我々は投票場の使用についての申請を行った。現時点で決まっていることは他にはない。」と言及。

CNE に予備選実施にあたる技術的な支援（投票機の使用、人員サポート、有権者登録情報など）を求めるかどうかは決定していない。

なお、野党はCNEの集計システムの正確性に強い懸念を表明しており、CNEの投票機を使用するとすれば、急進野党を中心に批判が出ることが予想される。

また、主要野党自身もCNEの投票システムを詐欺システムと非難していたため、使用すると矛盾が生じることになる。

ただし、野党が単独で有権者情報を収集することは事実上困難。

野党だけで選挙を実施する場合は、二重投票や外国の有権者の不在、手集計による集計ミスなどチェック機能が働かない状態となる。

CNEを利用して信頼性がないが、野党単独での実施も信頼性に疑問符が付く。

予備選の実施は23年6月25日を予定しており、今後2、3カ月内には運営方針を大筋決定させる必要があるだろう。

「カスティージョ前大統領 拘留を18カ月延長」

前号「[ベネズエラ・トゥデイ No.846](#)」にて、ペルー検察が拘束されているカスティージョ前大統領の拘束期間を18カ月延長しようとしているとの記事を紹介した。

カスティージョ前大統領が拘束された理由は「国家反逆罪」「共謀罪」「権力の乱用」「治安妨害罪」などの訴状に基づくもの。

検察は、カスティージョ前大統領が逃亡を図る可能性があるとして、拘束期間の延長を求めている。

カスティージョ前大統領とともに国家反逆罪と共謀罪に問われているアニーバル・トーレス元首相についても、リマ市とカジャオ憲法特別区外への無許可移動の禁止を含む行動制限が科せられた。

12月15日 ペルー最高裁は検察の要求を認め、カスティージョ前大統領に対する18カ月の予備的拘束を承認した。

ペルーでは、一連の解任劇に反対するカスティージョ前大統領の支持者の抗議行動が起きており、治安当局との衝突により17日時点で少なくとも24人が死亡している。

後任となっているディナ・ボルアルテ大統領（副大統領から繰り上げ）は緊急事態令を発令し、混乱を治めるために2023年12月に大統領選のやり直しを提案している。

18カ月拘束されるということは、カスティージョ前大統領が同選挙に出馬することは出来ないということになりそうだ。

なお、カスティジョ前大統領自身は今回の解任を認めておらず、メキシコのオブラドール大統領は「ペルーは引き続きカスティジョ大統領が国家主席」との認識を示しており、その他左派政権も一連の解任劇をクーデターと非難している。

経 済

「米国上院 ボリバル法を承認

～マドゥロ政権との取引制限を法律化～

12月16日 米国上院は、「ベネズエラ違法政権との貸与オペレーション禁止法(英語の頭文字をとって通称、Ley Bolivar=ボリバル法と呼ばれる)」を承認した。

ボリバル法の提案を主導したのは、共和党議員で、元フロリダ州知事のリック・スコット上院議員。他、マルコ・ルビオ上院議員(共和党)や民主党のジャッキー・ローゼン上院議員など政党をまたいで提案されている。

今後、下院でも議論されるが、下院でも超党派が動いており、賛成多数で可決される可能性は高そうだ。

ボリバル法のオリジナルは確認できていないが、報道を見る限り、ボリバル法は「米国政府機関がマドゥロ政権およびその協力者と取引することを禁止する」というもののようで、民間セクターを直接的な取引禁止対象にしているように見える。

ただし、法律の解釈に余白がある場合は、オーバーコンプライアンスが生じる。また、民間セクターはリスクを避けるため、一定のオーバーコンプライアンスが起きることは不可避だろう。

バイデン政権・ベネズエラ野党は、与野党協議を通じて2024年の大統領選の条件を勝ち取ることを目指しているが、今回のボリバル法が協議の進展の障害になることは間違いない。

12月17日 マドゥロ政権の外務省は、ボリバル法について拒絶する声明を発表。

米国政府による一方的な制裁行為は、国際法に違反しており、ベネズエラ政府のビジネスの自由を侵害するものであると指摘。また、不公平で作為的な行為であると主張した。

ヘスス・ファリア外相も

「ベネズエラ政府は、米国上院によるベネズエラ国民の経済圏を侵害する動きを非難する。同時にシモン・ボリバルという解放者の名前を汚すことを拒絶する」と投稿している。



Carlos Faria
@Fariacr · Seguir

El Gobierno de la República Bolivariana de Venezuela condena enérgicamente un nuevo intento por parte del Congreso estadounidense de vulnerar los derechos económicos del pueblo venezolano y ofender la memoria del Libertador, Simón Bolívar.

Comunicado

El Gobierno de la República Bolivariana de Venezuela rechaza contundentemente la aprobación por el Congreso estadounidense de una nefasta propuesta de ley que, tanto en su nombre como en su contenido, constituye una violación a las libertades económicas y una grave ofensa al pueblo venezolano.

Este instrumento, contrario al derecho internacional y concebido desde los sectores extremistas de la política en Estados Unidos, vulnera la integridad del pueblo soberano de Venezuela así como la de las mismas empresas establecidas, al calificarlas en riesgo de ser penalizadas, de manera arbitraria, injusta e ilegítima, al aporcar su derecho al libre comercio mediante contratasiones con el Gobierno Bolivariano.

Esta medida abusiva demuestra, una vez más, el ensañamiento de sectores ultranacionalistas y golpistas en la política estadounidense que reinician en su afán de denegar al Gobierno venezolano y de dinamitar cualquier ruta posible al diálogo y a las relaciones constructivas entre ambos países.

Con esta propuesta de ley, que pretende hacer irreversible los medios coercitivos unilaterales, se confirma que esos mismos sectores no tienen ningún interés en ver en Venezuela un proceso de desarrollo, una mejoría en la calidad de vida de nuestra población y mucho menos que se garanticen elecciones libres y justas, al promover más obstáculos y medidas hostiles en contra del país.

El nombre de dicho instrumento, además, ofende al Pueblo venezolano, a su historia y a su Libertador, cuyos valores republicanos y comprometidos con los principios de la libertad y de la paz, están muy por encima de los de un puñado de legisladores ignorantes de su gloria, y que solo serán recordados por la historia debido a su complicidad con la agresión a países libres y soberanos.

Frente a la amenaza mortífera y a sus herederos constructores de la guerra, la República Bolivariana de Venezuela seguirá cultivando y defendiendo el legado del Libertador Simón Bolívar, labrando su propio camino de estabilidad política y social, de recuperación económica y de diplomacia de paz, por un mundo libre de hegemonismo, colonialismo e imperialismo.

Caracas, 16 de diciembre de 2022

5:55 a. m. · 18 dic. 2022

(写真) カルロス・ファリア外相

「Avex 非伝統輸出品の輸出額は前年比40%増」

「ベネズエラ輸出者協会 (AVEX)」のラモン・ゴジョ代表は、2022年のベネズエラ非伝統産品の輸出額は30億ドルで、前年比40%増になるとの見通しを示した。

「ベネズエラの伝統産品」は、原油・資源系など主に政府が主体となっている輸出品目のこと。

ベネズエラでは、原油・資源系以外の製品を「非伝統輸出品」と呼んでいる。

非伝統輸出品について、ベネズエラが最も多く輸出している国・地域は、米国、欧州。チリ、ブラジル、ペルーなどにも一定規模の輸出がされているという。

具体的な商品として、「えび」「ラム酒」「自動車産業の製品」などを挙げた。また、政府が扱っている資源系では「アルミニウム」「鉄鋼」なども輸出していると説明した。

ゴジョ代表は、現在、ベネズエラから輸出するための行政手続きが煩雑であると指摘。輸出を拡大させるための障害になっているとの見解を示した。

「与党国会 追加予算約27.6億ドルを承認」

前号「[ベネズエラ・トゥデイ No.846](#)」にて、マドゥロ政権が2023年の国家予算を与党国会で説明したとの記事を紹介した。

12月16日 与党国会は同国家予算のうち、追加予算として申請していた約27.6億ドルを承認した。なお、同追加予算は前年比14%減になる。

同議論に費やされた時間は1時間半弱で、まともな議論はされていないだろう。



Queda aprobada por Mayoría Calificada la Segunda Discusión del proyecto de Ley de Presupuesto para el Ejercicio Fiscal 2023.



(写真) 与党国会

「2022年ドル建て価格は50%増」

経済専門家アスドゥルバル・オリベロス氏は、ドル建ての生活費が一年前と比べて50%ほど上がったと指摘した。

一方で、正規雇用労働者の給料は前年と比べて20%しか上がっておらず、実質的な購買力は低下しているとの見解を示した。

オリベロス氏は、2022年のインフレ率について前年比200%増と予想した。

社 会

「クリスマス ベネズエラでNGのプレゼント」

ベネズエラと日本は習慣が大きく異なる国である。

日本では問題ないプレゼントでも、ベネズエラでは不快感を与えるプレゼントという場合もある。

以下では、現地メディア「Efecto Cocuyo」が紹介するベネズエラで避けた方が無難なプレゼントを紹介したい。

なお、これはベネズエラ人へのアンケートで出た回答なので、個人的な主観が影響している部分が多そうだ。

1. 写真立て
2. トラックやバスを見立てたお菓子
3. 衣類
4. 家電
5. 衛生用品
6. 花瓶などツボ類

2022年12月17日～18日(土曜・日曜)

政 治

「マドゥロ政権 23年から GLONASS 使用
～ロシアの衛星測位システムで関係強化～」

12月17日 ロシア系メディア「Roscomos」は、ベネズエラとロシアが2023年からロシアの衛星測位システム「GLONASS」を使用することで合意したと報じた。

「GLONASS」は、米国の「GPS」、欧州の「Galileo」、中国の「BeiDou」などと同じシステムで、地上・海上・空などの位置情報を特定することが可能なもの。

米国とベネズエラは政治関係が悪く、米国の衛星システムに依存することがマドゥロ政権のリスクになるとの認識からロシアの衛星測位システムが導入されるものと思われる。

なお、複数の衛星測位システムを利用することで、測位情報の精度を高めることができるため、GLONASSの使用が他の衛星測位システムを使用しないことを意味しないようだ。

少なくとも現時点では他の衛星測位システムの使用を廃止するという情報は入っていない。

「独立野党 FV マドゥロ大統領と協議」

12月16日 マドゥロ大統領は、独立野党グループの中で最も大きな政党「隣人の力 (FV)」の代表らと協議を行った。

同会合に出席したのは、チャカオ市のグスタボ・ドゥケ市長 (FV 党首)、21年11月の州知事選でミランダ州知事選に出馬したダビッド・ウスカテギ氏、モレル・ロドリゲス氏、マニエル・フェレイラ氏、パブロ・サンブラーノ氏、ロスリス・トロ氏ら6名。

同会合に同席したホルヘ・ロドリゲス国会議長によると、FV は、メキシコで行っている与野党協議に参加したいとの意向をマドゥロ大統領に伝えたという。

現在メキシコで行われている与野党協議は、マドゥロ政権と主要野党との2グループで行われており、独立野党は含まれていない。

独立野党は主要野党とスタンスが異なるため、仮に独立野党が与野党協議に加わった場合、野党側の意思統一が更に困難になるだろう。

また、独立野党は主要野党とは異なり、米国政府との関係が強くない。そのため、米国政府の意志が与野党協議に反映しにくくなる部分もあるだろう。

また、FV から経済・政治・社会分野に関する一連の提案がなされた。FV のダビッド・ウスカテギ氏は、協議で提案した5つの内容を公表。ウスカテギ氏が公表した提案内容は以下の5点。

1. ベネズエラ国内の政治犯の解放
2. 現行の経済モデルの反省と変革
3. 外国に住むベネズエラ人の投票権
4. 最優先事項は公共サービスの改善
5. 外国が同伴するメキシコでの協議を支持

経 済

「マドゥロ政権・ペトロ政権 増便で合意」

12月17日 ラモン・ベラスケス国土交通相は、コロンビアとベネズエラが、カラカスーボゴタ間の商業空輸を増やすことで合意したと発表した。

今回の合意によりベネズエラの航空会社2社、コロンビアの航空会社1社がカラカスーボゴタ間の運航を再開するという。

正式な発表はされていないが非公式情報によると運航を再開するベネズエラの航空会社は「Laser」「Avior」（「Conviasa」の可能性もあるようだ）。

コロンビア系航空会社は「Satana」だという。

「Chevron ライセンスはマドゥロ政権に裨益 ～23年5月に制裁ライセンス見直し～」

22年11月、米国の「外国資産管理局（OFAC）」は、制裁ライセンス No.41 を発行。

米国エネルギー会社「Chevron」がベネズエラで事業を再開することを条件付きで許可した。

2021年までグアイド暫定政権で会計監査総長を務めていたホセ・イグナシオ・エルナンデス氏は、今回の制裁ライセンスについて、マドゥロ政権に裨益するとの見解を示した。

「私の認識では、今回の制裁緩和は2019年にベネズエラの石油産業へ制裁を科して以降、政治的な意味でも、経済的な意味でも最も大きな制裁緩和だ。

米国政府が段階的にベネズエラに科してきた経済制裁を解除しようとしていると考えている。

Chevron の制裁ライセンスは、与野党協議と切り離して考えることはできない。今回の制裁緩和は与野党協議を再開することに対するマドゥロ政権へのご褒美の意味合いを持っている。

この制裁ライセンスは最初の6か月間有効で、その後1か月毎に内容を見直される（つまり、2023年5月に見直しのタイミングが訪れる）。

また、バイデン政権は与野党協議の進展に応じて、制裁を更に緩和すると明言している。」

との見解を示した。

また、記者から「2023年5月にどうなると思うか？」と聞かれると、

「2つの可能性がある。1つ目は現在の内容が維持され、その後1カ月毎に見直しがされる可能性。2つ目は、協議が進展し、米国政府が更なる制裁緩和を決める可能性だ。」

「22年11月以前の制裁に戻る可能性はあるか？」との質問に対しては

「米国政府は制裁を再び元に戻す可能性についても言及している。」

しかし、制裁ライセンスを元に戻すことは Chevron に悪影響を与えることになる。Chevron も他のエネルギー企業と同様に中長期的な制度的安定が必要だ。安定が無ければ動くことはできない。

つまり、レトリック上では制裁を元に戻す可能性は否定されてないが、実質的にはそのような選択肢は考えられていないだろう。」

「制裁ライセンスでは、Chevron はベネズエラ政府に税金・配当金を支払うことが出来ないと明記されているが、そのような条件でマドゥロ政権が合意するだろうか？」との質問について、

「その文言は、制裁ライセンスミスだ。」と回答。

「Chevron は合弁会社の支配的株主ではない。合弁会社の配当金支払いは支配権を持つ PDVSA が決める。」

恐らく、Chevron は Chevron 単独で支払うべき税金を、過去の債権相殺に充てることでマドゥロ政権と合意することだろう。しかし、それは Chevron の合弁会社が、ベネズエラ政府・PDVSA に配当金を支払わないことを意味しない。今回の制裁ライセンスはマドゥロ政権と PDVSA に裨益する内容になっている。」

と回答した。

「23年のベネ石油産業は前年比7.2%増」

ベネズエラ人経済専門家のアスドゥルバル・オリベロス氏は、2023年のベネズエラ経済について、前年比プラス成長になるとの見通しを示した。

プラス成長の大きな要因として「制裁ライセンス No.41」を挙げ、同ライセンスについて3つの意義を説明した。

1つ目は、売り先の拡大。

2つ目は、ベネズエラ政府の収入増。

3つ目は、Chevron が販売する原油はディスカウントがされないこと、を挙げた。

これらの要因によりベネズエラの石油産業については前年比7.2%増。23年末のベネズエラ産原油は日量75万～80万バレルになるとの見通しを示した。

他、ベネズエラの GDP は前年比4.7%増との見通しを示した。

なお、「制裁ライセンス No.41 がベネズエラ政府に収入をもたらすかどうか？」については、前述のホセ・イグナシオ・エルナンデス氏と同じ認識を示している。

社 会

「ベネズエラのマスク着用アンケート」

現地メディア「Ultimas Noticias」は、ベネズエラのマスク着用状況に関するアンケート調査の結果を公表した。

なお、同アンケートの調査時期は22年10月24日～27日。回答者数は1,465件だという。

質問は「どのようなタイミングでマスクを着用しているか？」というもの。

結果は以下の通りで、

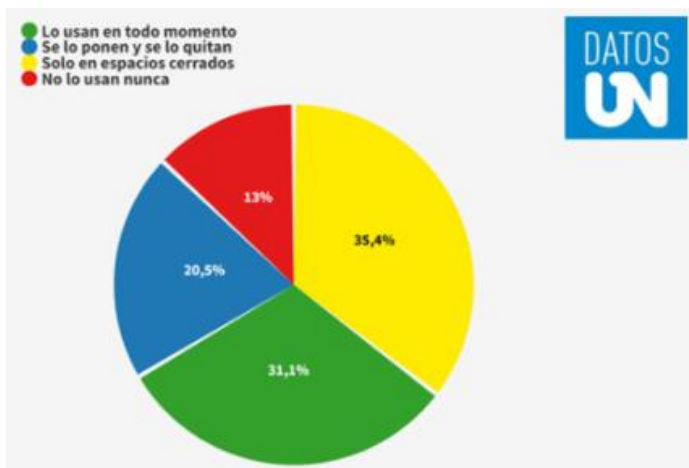
「閉鎖されたスペースでのみ着用」が35.4%。

「常に着用」が31.1%。

「時々着用する」が20.5%。

「着用しない」が13%。

となった。



(写真) Ultimas Noticias

現在、ベネズエラの Covid-19 感染状況は他国と比較してかなり安定している。

直近で、12月18日の Covid-19 新規感染者数は122人。55人はベネズエラ国内で感染を確認。67名は外国からの入国時に感染を確認したという。

同日の新規感染者は多い方で、最近の新規感染者数は2桁台を維持していた。

2020年3月から現在までに Covid-19 の感染が確認された総数は54万9,207名。

うち、現在も Covid-19 に感染しているのは全国で1,473名。

5,830名が死亡。

54万1,904名が Covid-19 から回復している。

最後に、「世界保健機構が Covid-19 の感染症終了を宣言するのはいつになるか？」との質問について、

「2024年以降」が27.4%と最も多かった。

次いで「23年初め」が24.1%。

「2023年中旬」が21%。

「2023年末」が14.8%。

「2024年中」が12.7%となっている。



(写真) Ultimas Noticias

以上